

1・2年次

医療は人と人のコミュニケーション  
その気持ちを大切にしたい。

1年 岩手県立盛岡第一高等学校卒  
鈴木 万達

岩手に根差した医療から最先端の医療が学べると聞いて、岩手医科大学を選びました。生まれ育った地元で医師として恩返しをするのが私の目標。将来は様々な疾患を診療できる総合医になりたいと考えています。

Q.大学の好きなところは？

A キャンパス全体が開放感にあふれ気持ちが明るくなります。施設も新しく、先生方も丁寧に教えてくださるので勉学に適していると思います。

Q.受験勉強で心掛けていたことは？

A 1科目を集中的に勉強するのではなく、苦手な部分がないように全体をまんべんなく勉強しました。本番は時間配分を考えて解き進めました。

Q.現在一番熱中していることは？

A 受験期に体力が落ちてしまったので、最近はトレーニングに力を入れています。ランニングや大学のジムを利用して、楽しみながら運動しています。





4年 私立カリタス女子高等学校卒  
古濱 貴美

他大学の歯学部を卒業後、歯科医師として大学病院の口腔外科に勤務していましたが、「もっと医学を学び、医師として患者さんへ還元したい」という思いが強くなりました。「誠の人間たれ」という建学の精神に惹かれ、歯学部編入枠で進学しました。

Q.1・2年次と違うことは？

A 3年生から臨床系の講義が始まり、3・4年生で全ての系統講義が終了します。臨床系の科目は、基礎系で学んだ知識をベースに病態、症候、治療について各科を学びます。

Q.自分で工夫している勉強方法は？

A 基本的ですが、一日一日、毎時間の講義を大切にしています。朝早めに大学へ行って講義の予習を行い、講義後に復習して新しい知識をしっかりと修得するようにしています。

Q.将来目指す医師像は？

A 患者さんは必ずしも、いつも医師を選べるわけではありません。「この先生に出会えてよかった」と思っていただけのように心身ともに癒すことのできる医師になりたいです。

3・4年次

最新の知見や研究内容を交えた  
臨床系講義が充実。



常に学ぶ姿勢を忘れずに  
世界に通用する医師を目指す。

5・6年次

5年 岩手県立盛岡第一高等学校卒  
及川 亮

将来は世界に通用する医師になって岩手の医療に貢献したいので、興味のある分野の英語論文を読んだり臨床実習で勉強した内容を英語の内科学書で復習したり、英語に触れる機会を増やしています。

Q.一番興味深い研修・実習は？

A 県内の病院で行われる地域医療臨床実習は、実際に行われている地域医療を経験できるとても貴重な機会です。将来自分が地域医療に従事するビジョンを明確にすることができました。

Q.希望進路とその理由は？

A 臨床実習で手術の奥深さを実感し、将来は外科系の診療科に進みたいと考えています。クラス担任制度やチューター制度があるので学生と教員との距離が近く、多くの人に進路の相談をしました。

Q.将来目指す医師像は？

A 誠の人間、誠の医療人として患者さんに寄り添い、患者さんを第一に考えた良質な医療を提供する医師になりたいです。常に学ぶ姿勢を忘れず、岩手から世界に通用する医師を目指しています。

